



間  
を  
極  
め  
よ  
う

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2012 KENDO

# TEIKYO UNIVERSITY

SPORTS OFFICIAL YEARBOOK

# 2012

KENDO

帝京大学 剣道部  
TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2012



KENDO



帝京大学 八王子キャンパス  
学生サポートセンター・グループリーダー  
強化クラブ室 副室長  
山崎 正

帝京大学 八王子キャンパス事務長  
強化クラブ室 室長  
古張 隆

学校法人帝京大学 理事長  
帝京大学 学長  
冲永 佳史

全日本剣道連盟では剣道の理念として「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」と説いている。剣道を通じて、心身の練磨、旺盛な気力を養い、礼節を尊び、自己の修養に努めるなど、人間形成を育む素晴らしい学生スポーツである。

9月に予定される関東学生剣道優勝大会に向け、猛稽古に励んでいると思う。この大会は10月の男子団体戦、11月の女子団体戦である全日本学生剣道優勝大会への出場権獲得に向け、帝京大学剣道部の真の実力を発揮し、まず全日本への出場権獲得を期待する。

中里監督は、日ごろ部員たちに学生剣道とはいかにあるべきか厳しく指導し、部員たちも礼節と謙虚さを大切に人間育成に努めている。この1年半、部員たちが早朝のキャンパス内を清掃している姿がとても印象的で、社会貢献が期待できる学生たちである。

今年度の本学剣道部は、男子・赤星佑幸主将、女子・藤井実季主将を中心に“リベンジ”を期すシーズンとなります。

昨年度は、特に男子につきましては1・2年時からの正選手を多数擁し、ここ数年でも集大成といえる有力チームでしたが、『関東学生剣道優勝大会』において、その後『全日本学生剣道優勝大会』で優勝した筑波大に1対3で惜敗する結果となりました。

しかしながら、部員たちは敗戦で悔しさを味わうと同時に、今後への糧も得られた大会であったようです。

志半ばで卒業していった先輩剣士たちの想いも乗せ、チーム一丸となり、新たな歴史を創造することを期待しております。

文部科学省の新学習指導要領では、日本古来より受け継がれる武道競技を、必修化とすることを決めました(中学校保健体育)。

ご存知のように、武道は、我が国固有の文化であり、相手の動きに応じ基本動作を身に付け、また勝敗を競い合う楽しさも味わうことができる競技です。また、武道に積極的に取り組むことで、その伝統的な考え方を理解し、相手や仲間を尊重し合う素晴らしい競技(運動)です。

本学剣道部・中里祥雄監督は今夏も、八王子キャンパス近隣の中学生を集め三日間にわたる剣道教室を実施し、少年少女剣士の育成に尽力されましたが、本学剣道部は競技にもその伝統的なメンタリティにも精通した素晴らしい指導者の下、日々鍛錬に励んでおります。

今シーズンも、学内外で剣道部各部員が活躍することを祈念し、イヤブック発刊のご挨拶とさせていただきます。

帝京大学剣道部  
イヤブック発刊に寄せて



帝京大学剣道部

負

勝

女子部  
2012





About Teikyo University Kendo Club

# 勝つことへのこだわり そこから見える道

「めーん!」「やあー!」  
練習場に今日もこだまする剣道部員の声。  
その振り下ろす剣にさまざまな思いを込め、  
勝利に向かって、明日の自分に向かって突き進む。

## 新チームの目指すもの

今年の剣道部はチームとして例年以上にまとまりがあると関係者は口を揃えて答える。実績面で突出した選手こそいないが、それが功を奏したのか剣道部員全員がひとつの目標に向かって邁進しており、その目標にぶれがない。その目標とは団体戦での「全国優勝」。胸を張ってそう答える彼ら、彼女たちに臆するものは何もなかった。

これまでの帝京大学剣道部が残した最高成績は個人で全日本学生3位、団体で全日本学生ベスト8までだった。それがいきなり日本一である。目標が少し飛躍し過ぎではないのか、と感じる方もいるだろう。

帝京大学剣道部監督の中里祥雄はこう答える。

「帝京大学は団体でまだベスト8までしか

うところだ。

「しびとく相手に食らいついていけるように、苦しいときに辛抱ができるように追い込む練習を常にさせています。それがようやく、できるようになったんですけど、それだけじゃ試合には勝てない。だから今はもう一段階上げた要求を学生にはしているところです。そういう意味では今までは全然違いますね」(中里監督)

春合宿では毎朝10キロを走ってから、午

前の練習に入っていた。昼食をとって一息入れた後に対外試合を行い、夜はメンタルトレーニングを毎日続けた。厳しいメニューを乗り越えたからこそ植えつけられる自信。それを学生たちに感じてもらいたいのだ。

中里祥雄 監督

行ったことがないので、表向きには優勝しますと言ったら格好悪いです。だけど、自分たちが目指すところは常に頂点ですし、そこを目標にしているから、これだけの練習をさせているんだというも学生たちには伝えています」

その言葉に熱がこもる。取材中、中里から学生に対して怒声が飛んだ。

「お前ら、何度言わせれば分かるんだ。声が足りないと言っているだろ。声を出して相手を圧倒し、自分を鼓舞するんだ」

もちろん学生たちは声を出している。体育館内には学生たちの声がかたまっている。それでも中里が考えるレベルにはまだ到底達していない。

怒りは夏に予定する夏合宿の中止を示唆する話にまで及んだ。

「このままじゃ関西に遠征に行ってもムダに終わるだけだ。遠征なんか行かないでここ(構内)ですと練習をやっているか?」

もちろん中里の本心ではなかった。これから戦う関東学生大会、そして目指すべく全日本学生大会。そこへ向けて、あえて苦言を呈したのだ。

## 勝つことにこだわる剣道

帝京大学剣道部は毎年、夏合宿を行っている。一昨年までは福島に遠征していたが震災の影響で昨年からは関西方面に変わった。合宿では主に実践練習を取り入れている。

他大学との対外試合を10試合以上行い、さまざまな大学の剣風と交わることで、秋の本番に向けての下準備をするのだ。

「昨年8月の合宿では12、13試合やりましたが、ひとつも負けた試合はありません。1勝6分の試合から7勝0敗までの試合をずっとしてきました」(中里監督)

昨年からは帝京大学は、負けない剣道に取り組んでいる。団体戦は個人戦と違って引き分けがルールとして認められている。7対0で勝っても、1対0で勝っても同じ1勝に変わりはない。だからポイントを取るのにはポイントゲッターに任せて、残りのメンバーは必死に相手に食らいつきポイントを許さない。他の大学から帝京大学とは当たりたくないという恐れられているのもそう





大塚敬彦  
師範



## 個性を持つということ

「この2年間、男子は全日本に行っていないので今のチームでどこまで行けるのかは正直分からないところもあります。けれど監督や師範も手ごたえを感じているからこそ厳しい要求を伝えてきているんだと思いますし、求められているものを結果で返せるようにしたいと思っています」

そう話すのは男子主将を務める赤星佑幸だ。男子はこの赤星を支えるように四年生全員がまとまっており、個性豊かなチームができた。

「個人の能力は今年より昨年の方が高かったと思います。ただ今年の方が個人の力が抜きん出ている分、みんなでもまとまってやっつていこうという気概は感じますね」(小澤コーチ)

副主将の西野哲哉は朝練を自ら考案するなど、行動で周囲を引っ張っていくタイプだ。夕方の全体練習が終わるとトレーニングルームへ向かいバーベルを持ち上げ、ウエ

しようし、そこで気付けられることもあるので有り難い存在です」(赤星)

互いを尊重しているからこそ厳しいことも伝えられる。今年のチームで西野はチームのバランスを保つ貴重な存在にもなっている。

「この子たちは本物の個性を持っているので近ごろ感じるんです。よく自分たちで個性があるとかいう子供がいますけど、それは身勝手なだけであって個性とは違うんですね。でも今年の四年生は自分たちが何をしなければいけないのかを各々が分かっている実践しています。その中で自分らしさを出して、そこを逸脱しないんです。それがこの子たちのすごく良いところだと思えますね」(中里監督)

## 人として成長していく

西野以外の四年生では教職課程を履修している佐藤慶太、竹内飛鳥、五十嵐涼馬の三人がこの春の教育実習を経て、ひとまわ

イトトレーニングにも励む。今年入ったばかりの一年生もそれに付いてきており、後輩にも良い影響を与えている。

また主将の赤星に厳しいことを言えるのも、この西野である。「他の学生にはあまり言わないけど、自分には言う。ただ、それが無かったら自分だけ浮いた存在になっただけ

り大きくなって帰ってきた。他の学生との比較こそできないが、一足早く社会経験をしてきた彼等三人は、本来の学生スポーツがあるべき姿を感じることができたのではないだろうか。もちろん他の四年生にも良い影響を与えているのは言うまでもない。

たちとやり取りをするなど、その姿は学校関係者に好感を持たれている。師範を務めている大塚敬彦は言う。「剣道には『交剣知愛(こうけんちあい)』という言葉があります。剣を交えて愛(おしむ)を知るという意味ですが、試合や稽古を通して、あの人もう一度剣を交えてみたい、会いたいという気持ちになるか、またそういう気持ちにさせるよう普段から稽古や試合ができるか、そういう教えでも

藤井実季 主将



あるんです。剣道には人によって剣風というものがあります。そこで剣を通して相手にどう思われるのか、試合で会ったのはそこが初めてでも、剣道が道である以上、またいつかどこかで出会うこともあるわけで、それは個人の将来にもつながってゆきます。もう二度とこの人と関わりたくないと思われれば、またどこかで会いたくないと思われれば、これは、剣道を通して学ぶすごく大事なことだと私は思いますね」

そういう意味で男子剣道部の四年生たちはそれが実践できていると言えるだろう。中里の言う個性とはそういうことだ。

## 仲間同士で意識を高め合う

その一方で女子はどうだろうか。今年四年生になった女子は藤井実季ただ一人だ。「女子が学年に一人ということもあり後輩には壁を作らないようにしています。その中

でも練習中と練習外のところではメリハリをつけるように心がけています」(藤井) 彼女なりに周囲のことを気遣い自分なりのキャプテン像というものを描いているようだ。

しかし、中里は言う。「藤井はもともとすべてのことに全力を出さなきゃいけないと私は感じています。練習でもがんばってはいるけど、私に言わせればまだ全力が出しきれない。女子主将としても後輩に遠慮したりしている面が見受けられるので、個人的にはもっとがむしゃらにやっつて良いと感じています。四年生で女子が一人しかいないのでかわいそうな面もあるんですけどね、それに負けないでほしいですね」

藤井に関しては小澤コーチからも同様の指摘が入っていた。ただ一人の四年生女子で厳しい面も多々ある。しかし、そこを乗り越えてこそ、大人としてもう一皮剥ける

小澤哲也 コーチ



ことができる。

「女子の前主将の竹内先輩はいつもどっしりしていて発言のひとつひとつが的確でキャプテンシーがあつたんですけど、自分には人に流されてしまうと、ころがあるのでは、竹内先輩のように言うところは言う、まとめるところはまとめられるように、よりオンとオフは強調していかないと考えています」

藤井の下には三年生が5人いる。彼女たち三年生もまた、藤井をサポートしているという意識を持っていて、同時に、下級生を引っ張っているという意識も強く持っている。男子のようには、ここは遠慮せず何でも言うてみてはどうか。

全体練習後、藤井が三年生の小林友紀とトレーニングルームで汗を流していた。こうした隠れた努力はいつか何かに通じるはずだ。藤井が中里の言う域に達するまであと一歩なのかもしれない。

中里はこう言う。「自分で考える限界って本来持っている力の70パーセントくらいじゃないですか。そこを超えたときに全力が出ると思うんです。そのゾーンに入った練習を継続できれば、自ずと勝てるチームになると思います。大概はその一歩手前でやめてしまうからできないんです。彼ら、彼女らは一生懸命にやっています。それは確かです。でも、それはまだ全力じゃない」

目指すところは頂点。期待が大きいからこそ指導にも熱が入る。この秋の帝京大学剣道部がどんな結果を残すのか期待したい。

赤星佑幸  
主将





# この一本に すべてを出し切る

がむしやらに剣に打ち込んできた。そしてついに、大学最後の年を迎えた。悔いのない一年を――。  
四年生の男子選手5人が  
剣に込めた思いを語った。

――まず今年目標を聞かせてください。

**西野**「日本一です」

**全員**「みんな、同じですね」

**市川**「個人では全日本に行けなかったのですが、団体戦はがんばろうと気合が入っています。個人がダメだったと落ち込むよりも、より多く団体戦に向けての時間が使えるようになったと解釈して最後はみんな有終の美を飾りたいです」  
**西野**「そういう意味でもチームとしてより勝ちにこだわるようになりましたね。以前だったら7人が7人勝ちに行くスタイルで試合をしていましたが、最近は次の選手につなぐ意識が変わって、チームとしての戦術が部員全員に浸透してきたと思います」

**亀屋**「練習ではお互いが良いところも悪いところも素直に言い合えるようになりましたね」

**山崎**「今は自分たち四年生が先頭に立ってそこに後輩が付いてきているので、みんな見られる立場になって向上心を持ってやるようになったし、まとまりが出てきたと思います」

**市川**「昨年までに比べると、より互いに支えあっていると思います」

**山崎**「昨年は関東大会を落として全日本に出られなかったのが悔しい思いもしましたし、今年は何としても全日本に出場して、日本一まで目指して行くことみんなが思っています」

――主将の赤星君を中心に非常にまとまりを感じます。

**西野**「赤星は厳しいところは厳しいです。後輩たちが少しでも練習中に力を抜いていたら、そこでしっかり指摘します。一方、練習外では優しい一面も見える。非常に切り替えのうまいキャプテンですね」

――恒例の朝練は、四年生が中心になってやっているそうですね。

**市川**「西野と山崎は絶対に朝練を休まないです」

**西野**「自分は朝が強いので(笑)。あと自分が始めたことだったので、そこはやらないとダメですね」

――朝練後は学内の掃除をしているそうですね。

**市川**「そこは自分が先頭に立ってやっています」

――

――監督は市川君のことを一本気な性格の選手だと話していました。

**市川**「朝掃除をすることになったのが精神面では大きいです。リーダーを任せられたからにはやらないと。剣道に対する気持ちも高まったと思いますね」

――昨年の合宿から、メンタルトレーニングもされているそうですね。

**亀屋**「呼吸法で体をほぐして、緊張もほぐすみたいなのですね。逆に、気持ちを高めるトレーニングもあります」

**山崎**「互いに相手の良いところを言い合ったり、ゲームみたいな感じで言葉のエアボクシングをしたりもします」

――剣道は間合いが大事ですからね。監督は遠藤君を試合がうまい選手と評価しています。

**遠藤**「自分は最初、先鋒とか前を任されていたんですけど、新人戦ではなぜか大将を任されることになったんです。でも、自分の中で自分は大將をするタイプじゃないだろうと葛藤があった

て、そのときは迷ったんですけど、チームにどう貢献すれば勝利に向かっていけるのかを考えたときに納得できるようになって、今はチームが勝つことを一番に考えてやっています」

――最近では中堅を任せられることが多いようですね。

**遠藤**「はい、最近はそうですね」

――前も後ろもやらせたのは、両方の気持ちに分かってほしいからと監督は話していました。

**遠藤**「中堅で使ってもらうようになったから、それを伝えられました。試合でどつやれば良いかも分かってきたので、監督の意図も分かってきましたね」

――ここにいる5人は団体戦でもチームを組むことが多いと聞いています。

**西野**「市川と山崎が前で、遠藤が中堅で、五将が亀屋。副将が自分で、大将が赤星ですね」

**市川**「監督が事前にどこをやりたいかを聞いてくれたり、適性などを考えてくれます」

――その中でポイントゲッターは西野君と亀屋君になるわけですね。

**西野**「昨年も朝練は欠かさずやっていたのです

山崎 和

Yamato Yamazaki

亀屋 綾

Ryo Kameya

市川 智章

Tomoki Ichikawa

遠藤 周斗

Shuto Endo

が、それを自信につなげられなくて…。試合でも良い結果を出せなかったので、今年は何とかなりたいですね」

――監督も昨年は精神面を指摘していました。何か転機はあったのですか？

**西野**「今までは団体戦で先輩がいたので人任せな面もあったと思うんです。それが今は最上級生になって、自分たちがやらなければいけないという意識が変わってそういう面で吹っ切れたというか、自分らがポイントを取って勝てるチームにしたいと考えるようになりました」

――亀屋君は試合のうまさを持っていると監督は評価しています。

**遠藤**「相手が考えていることを見透かしているような心理戦が得意ですね」

**市川**「試合中の余裕は自分もほしいです。亀屋は試合を見ていても取られる気がしないですね」

**亀屋**「一年生のときに怠けていて先生に指導されたことがあって、そのときに意識が変わりました。西野にも電話で「このままやっても腐るぞ、ちゃんとしろよ」って言われたんですよ」

**西野**「えっ、俺そんなこと言ったっけ？」

**亀屋**「言った。自分の言ったこと忘れた？」

――そんなチームを緑の下から支えているのが主務の山崎君ですね。

**山崎**「そうですね。主務なので常に周りを見るようにしています」

**西野**「でも、剣道はいやらしいですよ。僕と山崎は従兄弟同士で小さいころから知っていますけど、相手をしていると本当にイライラしてくるんです(笑)。難剣って言うんですけど、相手をかわしてイライラさせて、隙をついて打つような剣道なんです」

――チームワークと仲の良さはばっちりですね(笑)。日本一目指してがんばってください！



西野 哲哉

Tetsuya Nishino









—— 帝京大学に進学した経緯を聞かせてください。

**坂本新**「九州学院の先輩方が数多く進学されている学校ですし、先輩方から話を聞いていて好感を持ったので帝京大に決めました」

**坂本諒**「自分も九州学院出身なのですが、先輩が正月や夏休みに地元に戻ってきたときに話を聞かせてもらっていて、良いなあと思っていました」

**竹内**「自分の姉（11年度女子主将の竹内真季）が昨年まで帝京大の剣道部にいたので、試合などを見に行っていたときに、クラブの雰囲気がとても良くて、帝京大で剣道がしたいと思いました」

**高橋**「高校在学中に練習に参加させていただく機会があって、最初は練習がきつくて大丈夫かなと心配だったんですけど、強い先輩たちがたくさんいたので、一緒に稽古したいなと思っていました」

—— 入部して数カ月が経ちますが、クラブの雰囲気はいかがですか？

**坂本新**「上下関係があまり厳しくないのが、普段から一年生と四年生でも普通に会話をしていますね。先輩方からも一年生に話しかけてくれるので、練習もやりやすい環境です」

**坂本諒**「オンとオフの切り替えが、みなさんうまいですね」

**竹内**「自分も、剣道部はメリハリがあると思います」

—— みなさんの出身校は、九州学院が二人と、佐久長聖と横浜ですが、剣風の違いは感じますか？

**高橋**「全然違いますね」

**竹内**「坂本諒と坂本新は、自分から打ってこないタイプですね。相手を引き出して打つ感じがします」

**坂本新**「九州学院では「相手を使って剣道しろ」と教わるので、割とそういうタイプが多いです」

自分から積極的に攻めるタイプもいますけど、こつから攻めて行けば相手は打たれたくないと思うので、そこを狙えとか駆け引きが多いと思います」

**坂本諒**「その通りですね。全部言ってくれませんでした」

**坂本新**「高橋はガツガツ来ますね。考えてやっているというよりは本能でやっている感じがします」

**竹内**「野獣のようです（笑）」

**高橋**「がむしゃらにやっているんで……」

—— 中里監督も、高橋君は「二匹狼タイプ」と話していました。まさしく野獣ですね（笑）。

**坂本諒**「自分もそう感じます。剣道で言えば、相手の考えよりも自分の考えを押し通す感じなんです……」

**坂本新**「いい意味で相手のペースに合わせないよね。何があっても自分の剣道を貫くっていうタイプだと思います」

**高橋**「試合のときはあまり何も考えてないですね（笑）」

—— 大学の剣道は考えてやるものだと聞きまして、高橋君の中でそれは違うんですけど、高橋「高校の剣道は割と自分から打つという相手の構えを崩して引き技で相手を打つたりするんですけど、大学生は自分の構えをしっかり持っているんで面白いと感じています」

**竹内**「高校のときはただ打っていても相手に当たることが多々あると思うんですけど、大学の剣道は相手の竹刀と攻め合って、攻め勝たないと一本取れないので、そこが違いますね」

—— 四人は、高校のころからお互いの存在を知っていましたか？

**全員**「いえ、知りませんでした」

**高橋**「大学に入って、お互いを知りました。坂本新は場を盛り上げてくれるタイプなんで面白いですね」

**竹内**「性格は明るいし、九州男児的な面もある

のでとにかく熱い男ですね」

**高橋**「朝練も欠かさず出ているし、稽古も一生懸命にやるタイプなんですよ」

—— 四年生の西野君とは、練習後にウエイトトレーニングもしていますね。

**坂本新**「自分にはパワーが足りないと思うんです。剣道の練習だけでは筋量とかも増えないですし、ウエイトでパワーをつけないと上のクラスに行っても通用する力が足りないと思うので、意識的にウエイトには行っています。ただ剣道は硬い筋肉よりも柔らかい筋肉が必要なので、やり過ぎないように、体の細さを何とかしようとやっている部分もあります」

**坂本諒**「剣道のスタイルにもよると思うんですけど、自分はウエイトをしないんですけど、自分の剣道は、パワーで相手をねじ伏せるタイプではないですし、せこく嫌らしく、相手が嫌がることをやりたり駆け引きをして勝つタイプだと思っているので、人それぞれですね」

最後に今年1年のテーマを聞かせてください。

**高橋**「個人では自分の信じる剣道を貫いて、団体戦では頭を使って仲間たちに貢献できるようにがんばりたいと思います。全日本学生に出ます！」

**竹内**「気持ちで相手に負けないことですね。選手になれるように同学年の仲間にも負けないうに稽古に励みたいと思います」

**坂本諒**「自分なりにがんばって、レギュラーとして活躍できるようになりたいです」

# てっぺんを 目指す

## 【一年生座談会】

帝京大学剣道部に入部した、期待の一年生たち。  
思い思いのプライドを剣に込め、いざ、勝負！

**坂本新**「レギュラーになって試合に出るために帝京大学に入学してきたので、絶対にメンバーに入って関東大会を勝ちます！せっかく毎日練習しているのだから、試合に出ないと勿体ないし、試合に出れば試合でしか得ることができない経験がたくさん積めます。それに、一年生から試合に出れば、その強みや経験を四年生になったときに生かせると思うので、全国大会でも優勝して剣道界の歴史に帝京大学の名を刻みたいと思っています！」



# しなやかに美しく



まずはお互いを紹介してください。

**坂巻**「近藤は逆境に追い込まれたときほど、強さを発揮する精神的な強さを持った選手です。体力的にも精神的にもきつい場面であっても、自分から打ちに行く姿勢を見せましたし、全体練習が終わった後でも自分で課題を見つけたら一人で黙々と練習している姿を見かけます。自分になんかところを持っていて、同級生ですけど尊敬しています」

**近藤**「いつも全力で、試合のときでも最初から最後まで手を抜かないというか、常に全力疾走って感じがします。性格も素直ですし、練習や試合でも人一倍声を出して、人一倍動いているのでいつも一生懸命だと思っていています。自分も見習いたいです」

—— 上級生になって何か変わったことはありますか？  
**坂巻**「藤井先輩が四年生で女子一人ということもあって、それを自分たち三年生が支えていかなきゃいけないと思うようになりましたね」  
**近藤**「自分は、下級生のころは先輩たちに付いて行くタイプだったと思います。また、教職課程をとっているのが、授業が多くてなかなか練習に出られなかったのですが、最近は落ち着いて、ようやく練習に出られるようになりました。ですから、後輩にも声をかけて話をするようにしています。私は声が大いなので、練習中は声だけはしっかり出して、後輩を引っ張っていただけらと思っています」

—— 中里監督は二人にとってどんな監督ですか？  
**近藤**「高校とか中学と違って、大学の監督は一人ひとりに教えて回るといよりも、選手自らが見て学ぶという感じなので、監督に直接指導されるのはすごく貴重なことだと思います。だから声をかけてもらえると嬉しいですし、各々の学生をしっかり見てくれているんだと感じることもあります」

**坂巻**「基本は自分で考えながらやっているんですけど、たまにどうしたら良いのかなって分からなくなる時があるんです。そういうときは監督が的確なアドバイスをくれて導いてくれます」

—— 帝京大学剣道部の魅力は？

**坂巻**「みんなメリハリがしっかりしています。仲良くしているときは男女問わずみんなが仲良いで、練習のときは遠慮がないというか、いい意味でまとまりを感じます」

**近藤**「みんな真つ直ぐというか、正々堂々と戦っています」

**坂巻**「大会に行ったときに、他の大学の先生方からも帝京大学はいい剣道するねとよく褒められています」

—— 練習は男女混合で行いますが、男女で剣道を交わすメリットを聞かせてください。

**近藤**「女子と練習するより男子とやったときの方が怖い面がありますね。赤星先輩とかやっているときも、ここまで大きな女子はいないと感じますし（笑）、圧力が全然違います。突きを打たれたときに痛いと思うことはありますが、そのおかげで、女子同士の試合になったときには全然痛くありません。ですから、ひるまず向かっていけるというフラスコの面があると思います」

**坂巻**「女子同士でやっているときも、もちろん真面目にはやっているんですけどね。男子とやったときの方が打ちの強さも速さも違いますね」

—— 帝京大学剣道部では、女子会とかありますか？

**近藤**「たまにやりますね。大会が終わった後の打ち上げみたいな形でやっています」

**坂巻**「大会翌日はオフになることが多いので、翌日に改めて集まること

## 剣道部女子部員のホンネ

**Q1** 帝京大学剣道部に入って良かった？

**坂巻**○ **近藤**○  
**坂巻**「この仲間と出会って本当に良かったなと思っています！」

**Q2** 剣道部内で尊敬する仲間がいる？

**坂巻**○ **近藤**○  
**近藤**「藤井先輩と同期のみんな」

**Q3** 練習が大変だなと感じたことがある？

**坂巻**○ **近藤**○  
**坂巻**「教職課程を履修しているのが、授業も多くて部活に出られないときが多く、そこで遅れをとって、精神的に追い込まれたことがありました」

**Q4** 他人の剣風を見て、ちょっとなあ…と感じたことがある？

**坂巻**× **近藤**×  
**坂巻**「こういう剣道もあるんだっていつも勉強になります」

**Q5** 帝京大学剣道部は今年、男女ともに全国制覇をできると思う？

**坂巻**○ **近藤**○  
**近藤**「それを目指してみんな全力でがんばっているんで!!」

三年生に進級し、上級生としての自覚が芽生えた近藤と坂巻。大学生活後半戦のステージへと足を踏み入れた彼女たちの声を聞いた。

## 近藤美葉 × 坂巻美穂 (三年生)

もあります」

—— 秋には新武道館（仮称）が完成予定ですが、来年は最上級生として武道館を使えますね。

**近藤**「今は19時からハンドボール部と交代で体育館を使っているので、専用の武道館ができるのはとても嬉しいです。練習に、より集中できるようにしたいと思います」

**坂巻**「今は女子の部室が狭くて、全員がいつへんに入れないんですよ。でも新しい武道館は、ひとつの部室に全員入ると聞いたので、着替

えとかが楽になりそうですね」

—— 未来の後輩（高校生）へメッセージを。

**近藤**「帝京大学剣道部は、先輩がみんな優しいし、本当にみんなが仲良いクラブなので、興味を持ったら一度でも見学に来てください！」

**坂巻**「苦しいときもみんな盛り上げていこうとやっていますし、そこがこのクラブの一番良いところだと思うので、ぜひ一緒に剣道を楽しもう！」

—— ありがとうございます！



# 愛知剣文



TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL

YEARBOOK 2012 KENDO



# 2012年 帝京大学 剣道部 プレイヤースリスト

TEIKYO UNIVERSITY KENDO CLUB PLAYERS LIST 2012



①帝京大学剣道部はどんなチーム? ②剣道を通して学んだこと ③好きな練習  
④試合前に行う「けんかつぎ」や試合で心がけていること ⑤2012年の目標 ⑥将来、どんな人になりたいですか?

## 三年

**副務**

**柳 幸成**  
YUKIYUKI YAMAGUCHI  
法学部法律学科 帝京長岡高 新潟県 178cm  
① 仲が良い  
② 礼儀  
③ 地稽古いろいろ試せるから  
④ 緊張する  
⑤ 日々謙虚に過ごす。全日で勝つ  
⑥ 尊敬される人

**学年代表**

**後藤 悠佑**  
YUSUKO GOTO  
経済学部経済学科 九州学院高 熊本県 171cm  
① 真面目に物ごとに取り組む  
② 勝ちに対する執念  
③ 面打ち得意な技だから  
④ 髪を切る  
⑤ +10kg太る  
⑥ ケイン・コスギ

**学年代表**

**山田 溪太**  
KOTARO YAMADA  
法学部法律学科 帝京第五高 徳島県 170cm  
① 楽しい  
② いろいろ  
③ 全部  
④ サイキングアップ  
⑤ がんばる  
⑥ 板前

## 四年

**主将**

**赤星 佑幸**  
YUKO AKHOSHINI  
経済学部経済学科 九州学院高 熊本県 170cm  
① チームワークがある。メリハリがある  
② ふみ込み、感謝の気持ちの大切さ  
③ 引き技、どのようによれば当たるのいろいろ考えさせられるので  
④ メンタルトレーニングで気持ちを整える  
⑤ 全日本出場!! 入賞!!  
⑥ 社会人として当たり前な行動ができ、周りから頼られる人

**副主将**

**西野 哲哉**  
TETSUYA NISHINO  
医療技術学部スポーツ医療学科 新潟商業高 新潟県 175cm  
① 個性豊かなチーム  
② 感謝の気持ち  
③ しっかり稽古好きだから打てるから  
④ 試合前にヒゲをそる  
⑤ 日本一  
⑥ 大塚敬彦師範のような人物

**主務**

**山崎 和**  
YASUHIRO YAMAZAKI  
医療技術学部スポーツ医療学科 新潟商業高 新潟県 170cm  
① 向上心のあるチーム。みんなで盛り上がり、切磋琢磨できる  
② 礼儀や弱音を吐かない精神力  
③ しっかり稽古  
④ 神社へお参り  
⑤ 日本一  
⑥ 高鍋選手のような剣士

**岩本 将吾**  
SHOBURO YAMAMOTO  
経済学部経済学科 市立船橋高 千葉県 161cm  
① メリハリがある  
② 礼儀作法  
③ 地稽古  
④ なし  
⑤ 選手に入る  
⑥ 責任が持てる人

**渡辺 弘明**  
HIROAKI WATANABE  
医療技術学部スポーツ医療学科 大多喜高 千葉県 180cm  
① 多彩なチーム  
② 礼儀作法  
③ 基本稽古:基本を見つめ直し練習できる  
④ 勝つイメージを持つ  
⑤ 手を抜かない  
⑥ 警察官

**小林 友紀**  
YUKI KOHAYASHI  
医療技術学部スポーツ医療学科 若松商業高 福島県 154cm  
① チームワークが良い。仲良しだけど、ちゃんとメリハリがある  
② 精神面が成長できた。たくさんの人のおかげで剣道ができていくことを学んだ  
③ 地稽古いろいろな人々と真剣勝負できる  
④ 部屋掃除。試合直前に仲間を見る  
⑤ 全日本で活躍する  
⑥ 責任感がある人

**市原 悠佳**  
YUKARI ICHIHARA  
外国語学部外国語学科 市立船橋高 千葉県 155cm  
① 明るくけじめがある。面白い  
② 集中力の大事さ。仲間の大切さ  
③ 試合練習:練習している技や攻めが試せるから  
④ 掃除する。緊張しないように常に笑顔でいる  
⑤ 全日本出場!! 入賞!!  
⑥ 心優しい人

**市川 智章**  
TOMOAKI ICHIKAWA  
医療技術学部スポーツ医療学科 銀河学院高 広島県 163cm  
① 個性豊かで盛り上がりのあるチーム。仲が良い  
② 礼儀作法。仲間の大切さ。人との関わりによって自分の視野が広がった  
③ 一本しか打ってはいけない一本勝負一本の大切さが分かるから  
④ 前日に肉(カツ)を食べる。声を出して盛り上げ、チームを信じる  
⑤ 後悔の無い1年にする  
⑥ 心の広い優しい人間

**亀屋 綾**  
RYO KAMEYA  
医療技術学部スポーツ医療学科 岩瀬日大高 茨城県 168cm  
① チームワーク日本一  
② 謙虚な心  
③ 試合練習:盛り上がるから  
④ 好きな音楽を聴いてリラックス  
⑤ 全日本での活躍  
⑥ 大塚敬彦先生

**五十嵐 涼馬**  
RYOMA IGHARANI  
文学部教育学科 京北高 埼玉県 174cm  
① 部員一人ひとりが向上心を持っているチーム  
② 精神面  
③ 地稽古:試合感覚で練習できるから  
④ 何も考えないで、大きく深呼吸をする  
⑤ 全日本でベスト4に入る  
⑥ 優しい人

**遠藤 周斗**  
SHU FURU  
法学部法律学科 大宮東高 埼玉県 166cm  
① チームワークがある  
② 感謝の気持ち  
③ 区分稽古:しんどいから逆に気持ちが入る  
④ 試合を練習と思ひ、練習を試合だと思ひ  
⑤ まずは全日本出場。そして、日本一  
⑥ 自分に厳しく、人に優しくできる人

**近藤 美葉**  
MITSUHO KUNDO  
文学部教育学科 上水高 東京都 160cm  
① あったかいチーム。みんなで支え合っている  
② どんな辛くても、みんなでがんばれば、がんばれること!!  
③ 面打ち直したいところがたくさんあるから  
④ たくさん食べる!!チームの勝利にこだわる  
⑤ みんなで全日本出場!!  
⑥ 健康で仕事ができ毎日楽しく過ごせる人!!

**坂巻 美穂**  
MITSUKI SAKIMAKI  
文学部教育学科 春日部東高 埼玉県 164cm  
① 明るくて温かいチーム  
② 苦しいときにがんばれる力  
③ 技の練習:自分の練習したい技を特調できるから  
④ いつも通りに過ごす。冷静になる  
⑤ みんなで全日本出場!!  
⑥ 立派な人

## 二年

**学年代表**

**飯泉 拓馬**  
TAKUMA IHIKAWA  
医療技術学部スポーツ医療学科 水戸葵陵高 茨城県 173cm  
① 明るい。元気がある  
② 集中力  
③ 基本打ち  
④ 柔軟  
⑤ 団体のメンバーに入る。10kgやせる  
⑥ 警察官

**佐藤 慶太**  
KEITA SATO  
文学部教育学科 帝京長岡高 新潟県 169cm  
① 仲よし  
② 精神面  
③ 素振り:基本が身に付くから  
④ 負けるシーンを想像しないようにする  
⑤ したま勝つ  
⑥ 気の利く人

**竹内 飛鳥**  
TAKUCHI TAKERU  
文学部教育学科 東海大菅生高 東京都 168cm  
① みんなが向上心を持って、一生懸命なチーム  
② 何事も向上心を持って取り組むことを学んだ  
③ 地稽古:打つこと、打たれることで良い点も悪い点も見つけられるから  
④ 気持ちを強く持とうと胸を叩くこと  
⑤ 勝ってなんぼ!!  
⑥ 人の前に立てる人間

**女子主将**

**藤井 実季**  
MITSUKI FUJII  
医療技術学部スポーツ医療学科 市立船橋高 千葉県 163cm  
① メリハリのあるチーム  
② 忍耐力  
③ 地稽古:いろいろな技を試すことができる  
④ コートに入る前にジャンプ。声を出す、下がらない  
⑤ 全日本入賞  
⑥ お母さんみたいな人

**永松 大和**  
DAIWA NAGAMATSU  
医療技術学部スポーツ医療学科 九州学院高 熊本県 176cm  
① とても明るく仲が良い先輩たちが面白い  
② 集中力。忍耐力  
③ 返し剛100本:苦手だから  
④ 決まった音楽を聴く。視野を広く楽にする  
⑤ 試合に出て活躍した後輩から信頼される先輩になる!!  
⑥ 社会に認められる人間

**今井 大志**  
DAISHI IMAI  
医療技術学部スポーツ医療学科 安房高 千葉県 171cm  
① 一人ひとりが個性があり、勝利に対して貪欲なチーム  
② 仲間の大切さ。思いやる心  
③ 技の自由練習:新しい技のパターンの練習ができる  
④ 相手より後に面を着ける  
⑤ 日本一。そして去年の新人戦の借りを返す  
⑥ 仕事と剣道を両立し、強い意志を持って取り組める人になりたい

**玉川 諒**  
RYO TAMAGAWA  
法学部法律学科 大宮東高 埼玉県 168cm  
① 個性豊かなチーム  
② 礼儀作法  
③ 基本稽古:基本を見直せるから  
④ 力を抜く。集中する  
⑤ 自分の悪い癖を直す  
⑥ 優しい人

**村田 岳大**  
TAKEDA TAKEYOSHI  
法学部法律学科 横浜商大高 神奈川県 186cm  
① オンとオフがしっかりしている  
② 礼儀  
③ 基本練習  
④ 力を抜く。集中する  
⑤ 自分の悪い癖を直す  
⑥ 優しい人





AKIHITO BANDAI  
萬代 暁泰

法学部法律学科  
大社高 島根県 173cm

- ①面白い
- ②メンタル
- ③地稽古:先輩にかかることで理合が身に付くから
- ④高速足踏み
- ⑤(どんな形でもいいから)全日の勝利に貢献する
- ⑥ケンドーコバヤシ



KATSUHIKO YANASE  
柳瀬 克宏

法学部法律学科  
秀明英光高 埼玉県 168cm

- ①全員が練習に対して真面目
- ②礼儀
- ③技練習:弱点を改善できるから
- ④イメージトレーニング
- ⑤試合で勝てるようになる
- ⑥自分に厳しくできる人間



RYOJA OGAWA  
小川 綾也

経済学部経済学科  
帝京第五高 岡山県 168cm

- ①明るいチーム
- ②心
- ③稽古
- ④平常心
- ⑤強くなること。試合に出ること
- ⑥立派な人



YUSUI TAKAHASHI  
高橋 由聖

経済学部経営学科  
星槎国際高 神奈川県 175cm

- ①メリハリ
- ②精神力
- ③地稽古
- ④深呼吸
- ⑤強くなる
- ⑥マイケル・ジョーダン



TAKASHI NAITO  
内藤 丈士

法学部法律学科  
国際高 東京都 172cm

- ①素晴らしいチーム
- ②礼儀、忍耐力
- ③面打ち:基本にして一番よく使うから
- ④アキレス腱をのぼす
- ⑤チームで上位
- ⑥警察官



SHOHEI KAKU  
加久 翔太

医療技術学部スポーツ医療学科  
京都高 福岡県 171cm

- ①先輩方が後輩の面倒をしっかりと見てくれるところ。オンとオフの区別がしっかりしている
- ②何事にも一生懸命がんばること
- ③基本練習:一本一本を確認しながら取り組めるから
- ④常に攻める気持ちを前面に出す
- ⑤日々の稽古を真剣に取り組む
- ⑥五十嵐涼馬先輩



SHOHEI NAKAI  
中田 祥平

医療技術学部スポーツ医療学科  
本庄第一高 東京都 172cm

- ①稽古中とそれ以外のメリハリがしっかりしている
- ②礼儀作法
- ③基本練習:自分の技を見直せるから
- ④好きな音楽を聴く。負けない心を持ち続ける
- ⑤苦手な部分をひとつでも多く直す
- ⑥思いやりの持てる人間



DAISUKE SAKAI  
関根 大祐

医療技術学部スポーツ医療学科  
横浜商大高 神奈川県 175cm

- ①すごいチーム。みんなわちゃわちゃしている
- ②精神力、忍耐力
- ③試合練習:自分の力を試せるから
- ④手を握る
- ⑤試合に出て活躍する
- ⑥器の大きい人になる



MIKIHO KAWAHARA  
川原 真梨子

教育学部初等教育学科  
帝京第五高 岡山県 147cm

- ①個性的で楽しいチーム。一緒にいて楽しい
- ②仲間の大切さ
- ③かき稽古:終わった後の達成感がすごい!
- ④試合1週間前からは爪を切らない。強気で向かう
- ⑤レギュラーに入って試合で活躍する
- ⑥大塚敬彦先生。みんなを笑顔にできる人になりたい



EIKA UCHIKAWA  
内川 英華

法学部法律学科  
仙台育英学園高 東京都 162cm

- ①元気で明るいチーム。全員が仲が良い
- ②仲間と何かをやり遂げる大切さ。つらい練習や悔しさを乗り越えて精神的に成長できた
- ③基本打ち:いろいろな技を練習できるから
- ④試合前に仲間からアドバイスをもらう
- ⑤全日本出場
- ⑥人の役に立てる人になりたい



HITOMI TAKAHASHI  
高橋 瞳

経済学部経済学科  
市立船橋高 千葉県 164cm

- ①ONとOFFの切り替えがしっかりできる
- ②忍耐力
- ③自主練:自分のやりたいことを徹底的にできるから
- ④動き回る! じっとしていると緊張する。試合では常に冷静に!
- ⑤文武両道
- ⑥キャリアウーマン



MIZUKI YAMAMOTO  
山本 瑞綺

外国語学部外国語学科  
国士館高 東京都 151cm

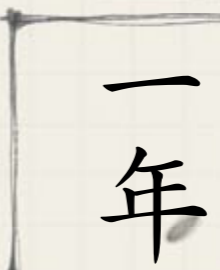
- ①お互い信頼し合っているチーム。先輩・後輩みんながとても仲よし
- ②どんなときも最後まで諦めないことの大切さを学んだ
- ③基本打ち:集中できるから
- ④どんな相手に対しても気持ちでは負けないようにしている
- ⑤全国に出場し勝ち上がる
- ⑥社会に出たときに必要とされるような気の利く人間になりたい



RYOMA SAKAMOTO  
坂本 諒磨

医療技術学部スポーツ医療学科  
九州学院高 熊本県 162cm

- ①ワイルドなチーム
- ②楽しむ心
- ③相がかりきつから
- ④緊張を感じる
- ⑤本物の坂本蔵磨になる
- ⑥警察官



RIKO HASEGAWA  
橋本 理緒

文学部社会学科  
新潟商業高 新潟県 160cm

- ①仲がよく元気。和気あいあいとしている
- ②生活マナーが身に付いた。何事もまずは挑戦してみようという気持ちになった
- ③地稽古:試合のことを考えて、自分の技を出すことができるから
- ④足を動かす
- ⑤積極的に技を出すことを心がけている
- ⑥足を細かく動かす。すり抜けをはやくする
- ⑦生活態度がしっかりした人になりたい



SAKIKO NOMURA  
野村 咲季

医療技術学部スポーツ医療学科  
横浜商大高 神奈川県 165cm

- ①やるときはやるチーム!ONとOFFがしっかりしている
- ②集中力
- ③地稽古:いろんな先輩と稽古ができるから
- ④特にない。力を抜いていつも通りに!
- ⑤強くなる!
- ⑥優しい人!



DAIKI TAKEUCHI  
竹内 大

医療技術学部スポーツ医療学科  
佐久長聖高 長野県 167cm

- ①仲よし
- ②メンタルの強さ
- ③追い込み
- ④アキレス腱をのぼす
- ⑤選手になる
- ⑥イチローみたいに



SHINTARO NISHIMURA  
西村 真太郎

文学部史学科  
三養基高 佐賀県 166cm

- ①フレンドリー
- ②勝つことの喜び
- ③部内戦:先輩に勝つと嬉しいから
- ④爪を切る
- ⑤すべてを楽しむ!!
- ⑥優しいお父さん



SHINTARO SAKAMOTO  
坂本 新太郎

医療技術学部スポーツ医療学科  
九州学院高 熊本県 183cm

- ①楽しいチーム
- ②勝つことの喜び
- ③部内戦:先輩に勝つと嬉しいから
- ④爪を切る
- ⑤すべてを楽しむ!!
- ⑥優しいお父さん



KAZUHIRO TAKAHASHI  
高橋 和輝

医療技術学部スポーツ医療学科  
横浜高 神奈川県 175cm

- ①楽しいチーム
- ②礼儀
- ③基本打ち:楽しいから
- ④音楽鑑賞
- ⑤全日本出場
- ⑥根索中



NAOKI YAMADA  
山田 直紀

法学部法律学科  
横浜商大高 東京都 171cm

- ①みんな明るく、やるときはやる
- ②礼儀作法
- ③切り返し:すべてに
- ④相手に気合で負けない
- ⑤この1年間乗り切る
- ⑥しっかりとできる人



RYOHEI ASAHIRA  
栗林 徹

経済学部経済学科  
横浜商大高 神奈川県 169cm

- ①チームワークが良く、オンオフがはっきりしている。仲が良い
- ②心身共に成長し、礼儀作法、忍耐力が付いた
- ③基本練習:基本が一番大切だと心がけている
- ④勝つイメージをつくる。気合で負けない
- ⑤高校とは違う大学の剣道を身に付けた
- ⑥自分をしっかりと持っている人



YUTA ISHIWATA  
石渡 雄太

医療技術学部スポーツ医療学科  
横浜商大高 神奈川県 175cm

- ①仲の良いチーム
- ②集中力
- ③小手打ち:得意技だから
- ④足をぶるぶるさせる
- ⑤-10kg
- ⑥市川智章先輩



DAITARO KAGAWA  
加藤 大翔

教育学部教育文化学科  
米子松嶺高 鳥取県 174cm

- ①アットホーム
- ②忍耐力が付いた
- ③地稽古:技を思いきり試せるから
- ④平常心を心がけている
- ⑤レギュラーになる
- ⑥文武を両立できる人



03

## 主務

【しゅむ】

主務の山崎和（左）と副務の柳幸成は、剣道部に関わるさまざまな書類作成から各所で行われる会議の参加まで緑の下の

力持ちとして部を支えている。「主務は部の顔でもあるので、責任感というか自分がやらなきゃいけないという気持ちになります。部員全員への気配りも必要ですし、剣道部が円滑に活動できるよう重要な役割を果たしています」（山崎）



## 竹刀

【しなひ】

全日本剣道連盟の公式戦で使用する竹刀は長さ、重さの規定があり、大学生は長さ3尺9寸120cm以下で、重さは男子510g以上、女子440g以上の中から選ぶ。

04

## 新武道館

【しんぶどうかん】

2012年秋に完成予定の新武道館（仮称）。1階に空手道場、2階に柔道場、3階に剣道場があり、トレーニングルームと治療院も設置される予定で、万が一、学生が怪我をした際には最短最速のケアが施されるようになっている。また、観客席も設置されて、普段部員が練習する姿や練習試合などの観戦も可能になり多目的でオープンな施設として誕生する予定だ。



## 帝京スタイル

【ていきょうすたいる】

帝京大学剣道部の練習は、その質の高さとともに他学の生徒が合同練習で舌を巻くほど密度の濃いことで知られる。また団体戦では1対0で勝っても、7対0で勝っても1勝は1勝と考えるよう学生たちにも徹底して勝利への意志が統一されている。

06

# 帝京大学剣道部が分かる



# 10アラカルト

帝京大学強化クラブの中でも特に個性的な部員が揃う剣道部。そんな彼らのこだわりや素顔に迫る、アラカルトあれこれをご紹介します。

## 朝練・掃除

【あされん・そうじ】

朝練は6時半からスタート。自宅通学者が多いため基本は希望者のみの参加。ランニングなどで1時間体を動かしたあと学内を掃除する。



01

05



後藤  
「自分らの四代前の先輩から使っているみたいなんで、10年くらいになりますかね」

熊本銘菓「陣太鼓」をパクッ

坂本新  
「特に強制とかじゃないですよ(笑)」

歴代の九州学院高校出身の学生がなぜか賃貸契約を結ぶという謎のアパート。現在、帝京大学剣道部に在籍する部員（赤星、後藤、坂本諒、坂本新）の4人も当然、このアパートに住んでいる。

## CABIN

【きゃびん】

02

坂本諒  
「みんな歴代の先輩を募ってここにやってきます」





# 心を伝えていくために

—— 教職課程を受けようと思ったきっかけは？

**佐藤**「中学生のころから教員になろうかなとずっと考えていたので、大学で教育学科に入りました。ですから自然と、教職課程を受けることになりました」

**五十嵐**「僕は最初、法学部で帝京大学に入ったんですけど、小さいころから先生になりたいとずっと考えていたので、教育学科に編入することにしました。その際、高校のときに教わった先生に相談したのですが、憧れていた先生のようになりたくて感じて編入を決めました」

**竹内**「自分も大学は教育学科に入ったので、入ったからには教員免許をとろうと思っただけで入ったんですけど、祖父が教員だったことも強く影響したと思います」

—— 教育実習はどうでしたか？

**佐藤**「教職云々よりも仕事をするの大変さを身に染みて感じました。大学では模擬授業をやってきたんですけど、実際に現場で生徒相手に授業をやってみると全然違うんですね。そこで苦労もしました」

**五十嵐**「やっぱり人に何かを教えるのは難しいですね。自分ができることを他人に教えるだけでも、できる子とできない子に分かれます。そのできない子ができるようにするために、自分はどうか教えなければならぬかを考えないといけない。人それぞれのみ込み方も違うので、それを見抜いて相手に伝える教え方をしなきゃいけないと強く感じました」

**竹内**「自分も教えることの難しさを感じましたね。自分が持っているものだけで教えようとしてもなかなか伝わらないですし、体育の実技でも各々で伝わり方は違いますし、だから感覚的な教え方をしても、あくまでそれは自分の感覚的なことでその子の感覚ではないんです。その点で

## [ 教 職 課 程 履 修 ]

剣道で学んだ心を子供たちへ——

教育実習を終えたばかりの三人の四年生に、話を聞いた。

は全体に伝わりやすい教え方をいつも考えていました」

—— 大学の模擬授業ではどんなことを？

**佐藤**「単独で50分間授業をすることはほとんどないのですが、二人とか三人で50分間を分けて教師役を務めます」

—— 教育実習を終えて、剣道の取り組み方や学生生活が変わってきた部分はありますか？

**五十嵐**「監督が言っていることはこういう意図があるんだろうとより理解できるようになりました。あと教える側の気持ちですね。それが理解できるようになりました」

**竹内**「監督の話聞いていても前より理解できることが増えましたね。それを聞いているだけでも教え方がうまいな、すごいなと感じる面があります」

—— 残り少ない大学の剣道部の生活で、後輩に伝えていきたいことはありますか？

**佐藤**「大学生は、恵まれた環境の中で甘やかされていると思います。勝つためには日常生活でしっかり自己管理できないといけませんし、そういうものが結果としてついてくると思うので、自分に甘さを感じているのだったら、自分自身もそうですし、周りも正していけるよう日々心がけていきたいです」

**五十嵐**「大学生になると、高校までと違って自分で身の回りのことをすることが多くなると思います。親に甘えることもできるかもしれませんが、そこで、自分だけでやっていけるよう正していかなきゃいけませんし、そういった点を教えていけたらと思います」

**竹内**「もう出尽くした感じですけど(笑)、いつまでも自分が学生でいる感覚ではなくて、社会に出る準備をしっかりとできなきゃいけないんだぞって後輩には伝えていきたいです」



五十嵐 涼馬

竹内 飛鳥

佐藤 慶太

## 07 手ぬぐい

[てぬぐい]

面の下につける手ぬぐいは、面単体では保護できない後頭部を守る役目と、面が頭髮に接する部分が汗や皮脂で劣化しないための用途として使われている。

練習中は学生たちが思い思いのものを身につけて練習に励んでいる。出身校のものや思い出の大会のものや剣道を始めた少年団のころのものまで多種多様だ。ただし試合では帝京大学剣道部オリジナルの手ぬぐいを全員が使用する。手ぬぐいに記されている「勝負」という言葉は、監督の義父・安部貞藏氏が書いた渾身の一言だ。



## トレーニングルーム 09

[とれーにんぐるーむ]



## 胴

[どう]

## 08

全体練習後のウエイトトレーニングなどで使用する。トレーニングは選手個人の意思に任せられ、使用する際は中里監督に必ず一声かけるのが決まりだ。

胸から腹、脇下を守る防具で、胸部分を守る部分を胴胸と言い、腹部分を守る部分を胴台と呼ぶ。胴胸には雲型や曙光と呼ばれる伝統的な文様の刺繍が施され、これも選手個人の好みにより、さまざまなデザインになっている。

## 10



## 面

[めん]

面は、頭部と喉部を保護する役目を果たす防具だ。面金は6本目から7本目の位置が物具と呼ばれ、視界確保でわずかに広がっており、喉を保護する部分の突き垂には、選手個人の思い思いのデザインが施されている。



■ R E S U L T ■

2011年～12年  
主な大会成績

- [団体]  
 ■第60回関東学生剣道優勝大会（日本武道館）  
 1回戦  
 ○帝京大—電気通信大●  
 3勝4分  
 2回戦  
 ●帝京大—筑波大○  
 1勝3敗3分  
 ■第37回関東女子学生剣道優勝大会（東京武道館）  
 1回戦  
 ○帝京大—都留文科大●  
 1勝1敗3分（代表戦）  
 ■第57回関東学生剣道新人戦大会（東京武道館）  
 1回戦  
 ○帝京大 シード  
 2回戦  
 ○帝京大—東京都市大●  
 4勝1敗2分  
 3回戦  
 ●帝京大—茨城大○  
 3勝3敗1分（代表戦）  
 ■第12回関東女子学生剣道新人戦大会（東京武道館）  
 1回戦  
 ○帝京大—千葉工業大●  
 4勝1分  
 2回戦  
 ●帝京大—日本体育大○  
 1勝2敗2分  
 ■第48回都下大学剣道大会（東京学芸大学）  
 女子団体 3位  
 男子個人 3位 佐藤慶太  
 [個人]  
 ■第9回西東京六大学剣道大会（桜美林大学）  
 優秀選手賞：関根大祐、小林友紀  
 ■第58回関東学生剣道選手権大会（日本武道館）  
 1回戦  
 ○亀屋—新井●（東京工科大）  
 ○高橋—毎熊●（立正大）  
 ○西野—今井●（東京農業大）  
 ○佐藤—西本●（横浜国立大）  
 ●後藤—吉岡○（学習院大）  
 ●五十嵐—小濱○（清和大）  
 2回戦  
 ○亀屋—保澤●（武蔵大）  
 ○高橋—清水●（国際武道大）  
 ○西野—辻本●（國學院大）  
 ○佐藤—橋崎●（大東文化大）  
 3回戦  
 ○亀屋—金森●（一橋大）  
 ●高橋—宮本大○（中央大）  
 ●西野—佐伯○（筑波大）  
 ●佐藤—時田○（東海大）  
 4回戦  
 ●亀屋—柴田○（日本大）  
 敗者復活戦  
 ●亀屋—兵藤○（中央大）  
 ●亀屋—久保○（慶應大）  
 ■第44回関東女子学生剣道選手権大会（日本武道館）  
 1回戦  
 ○野村—今村●（清和大）  
 ○内川—山田●（一橋大）  
 ○山本—細野●（上智大）  
 ○市原—片山●（防衛大）  
 ●小林友—三木○（日本体育大）  
 ●橋本—水川○（神奈川大）

- 2回戦  
 ○野村—山口●（東海大）  
 ○内川—佐々木●（青山学院大）  
 ●山本—南島○（城西国際大）  
 ●市原—坂本○（日本体育大）  
 3回戦  
 ●野村—梅澤○（早稲田大）  
 ●内川—山口○（桜美林大）  
 ■第18回東京都学生・女子学生剣道選手権大会（明治大学和泉校舎体育館）  
 <男子>  
 1回戦  
 ○後藤—丸山●（明治大）  
 ○西野—八木●（専修大）  
 ○永松—尾崎●（駒澤大）  
 ○飯泉—北川●（東京農業大）  
 2回戦  
 ○後藤—玉城●（東京都市大）  
 ○亀屋—白川●（桜美林大）  
 ○西野—谷口●（立教大）  
 ○佐藤—高橋●（立教大）  
 ○永松—三橋●（東京大）  
 ●飯泉—千葉○（国士館大）  
 3回戦  
 ○後藤—東郷●（法政大）  
 ○亀屋—雪田●（国士館大）  
 ○西野—山下●（東洋大）  
 ○佐藤—千葉●（法政大）  
 ●永松—新村○（中央大）  
 4回戦  
 ○後藤—清水●（東洋大）  
 ○亀屋—小比木●（明治大）  
 ○西野—吉川●（国士館大）  
 ●佐藤—宮本大○（中央大）  
 5回戦（ベスト16）  
 ○後藤—上村●（国士館大）  
 ●亀屋—秀徳○（法政大）  
 ●西野—渡邊○（国士館大）  
 6回戦（ベスト8）  
 ●後藤—鬼倉○（立教大）  
 <女子>  
 1回戦  
 ○橋本—小貫●（明治学院大）  
 ○野村—村井●（大妻女子大）  
 ●内川—野々俣○（大正大）  
 2回戦  
 ○小林友—小川●（国士館大）  
 ○山本—内田●（東洋大）  
 ○橋本—田原●（東京理科大）  
 ●市原—藤原○（駒澤大）  
 ●野村—中田○（桜美林大）  
 3回戦  
 ○小林友—柿本●（東京大）  
 ●山本—上田○（慶應大）  
 ●橋本—蘭部○（駒澤大）  
 4回戦  
 ●小林友—河田○（東洋大）  
 ■全日本剣道選手権大会東京都予選会 出場権獲得  
 西野 ベスト16  
 亀屋 ベスト16  
 後藤 ベスト8  
 ■東京都国体選手権大会 出場権獲得  
 後藤 ベスト8

■ S C H E D U L E ■

2012年度  
主な大会日程

- 9月9日  
 第61回関東学生剣道優勝大会（日本武道館）  
 9月15日  
 第38回関東女子学生剣道優勝大会（東京武道館）  
 10月  
 警視庁対関東学生剣道連盟親善試合（警視庁武道館）  
 10月7日  
 第66回八王子市民体育大会剣道大会（八王子市民体育館）  
 10月28日  
 第60回全日本学生剣道優勝大会（大阪府立体育館）  
 11月11日  
 第31回全日本女子学生剣道優勝大会（春日井市総合体育館）  
 12月1日  
 第13回関東女子学生剣道新人戦大会（東京武道館）  
 12月9日  
 第58回関東学生剣道新人戦大会（東京武道館）  
 12月  
 第49回都下大学剣道大会  
 2013年3月  
 第7回京都府実業団・学生剣道大会（京都市武道センター）

私自身剣道はいたしません。いろいろなスポーツをしてきて上手くなるのがそう簡単ではないことをよく知っています。しかし、どのスポーツでも共通して言える上達の道があると考えています。それは「連の動作を繰り返し練習すること」「良き指導者の言葉に耳を傾け、その指示通りにできるよりに練習すること」。このふたつが上達の基本であるように思います。剣道でも同じだと思います。心・技・体という言葉があります。それらを充実させるには先ずは練習（「稽古」）です。稽古によって身体を作り、技術を磨き、精神力を鍛え、強くなっていくのだと思います。「心・技・体」とは順序が逆に述べましたが、まずは剣道に適した体力、筋力をつけ、次に相手に勝る技術を会得し、最後に勝負に負けない強い心を持つことが大事です。稽古を通じて、この3つを獲得してください。幸いなことに帝京大学では大勢の稽古相手に恵まれ、日々鍛錬でき、また大塚敬彦師範、中里祥雄監督、小澤哲也コーチと優れた指導者がいらつしやいます。強くなりたく、諸君には絶対の場だと思います。今秋には帝京大学新武道館（仮称）が完成する予定です。剣道にとって素晴らしい環境ができあがります。今まで以上にやる気が出てきます。これから皆さんが「一歩一歩進化すること」は間違いありません。予想以上に突然ブレイクスルーして、開眼することもあり得るでしょう。いずれにせよひとつ上のステップへ上がるよう目標を持って鍛錬してください。日々の稽古の結果、大きな成果を挙げられることを期待しています。

ひとつ上を目指して

帝京大学剣道部部长  
村田 宣夫





自ら考え、行動し、個性を発揮できる「自分流」な人材育成。  
 自分の才能を見つけ、伸ばし、チャレンジできる大学。  
 私たちは帝京大学です。

「自分流」で学べる10学部

- 【医学部】医学科 【薬学部】薬学科
- 【経済学部】経済学科／地域経済学科／経営学科／観光経営学科
- 【法学部】法律学科 【文学部】日本文化学科／史学科／社会学科／心理学科
- 【外国語学部】外国語学科 【教育学部】教育文化学科／初等教育学科
- 【理工学部】機械・精密システム工学科／航空宇宙工学科／ヒューマン情報システム学科／  
 バイオサイエンス学科／情報科学科(通信教育課程)
- 【医療技術学部】視能矯正学科／看護学科／診療放射線学科／  
 臨床検査学科／スポーツ医療学科／柔道整復学科
- 【福岡医療技術学部】理学療法学科／作業療法学科

全国に広がる5つのキャンパス

- 八王子キャンパス／板橋キャンパス／宇都宮キャンパス／  
 福岡キャンパス／霞ヶ関キャンパス



団体戦の試合形式で行う練習前のひとコマ。全員が声を出して、気合を入れて、拳を重ねあう。戦うのは個人個人だけど、心はひとつ。団体戦にかける思いは本物だ。このまとまりと集中力が、剣道部員の心をますます強くしていく。

帝京大学 剣道部公式ホームページ

**TEIKYO UNIVERSITY**  
**SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2012**  
**KENDO**

2012年8月発行

編集  
 永田 遼太郎  
 片山 佐知子 (スリーライト)

撮影  
 川本 聖哉

デザイン  
 伊藤 博樹 (イトワークス)

印刷  
 スリーライト

発行  
 帝京大学本部 広報課  
 東京都板橋区加賀 2-11-1  
<http://www.teikyo-u.ac.jp>

本誌掲載記事、写真等の無断複写・  
 複製・転載を固く禁じます。  
 © TEIKYO UNIVERSITY 2012



最新NEWSをはじめ、試合情報、部員紹介や動画まで、剣道部に関する情報をお伝えしていきます。帝京大学 剣道部公式ホームページをご覧ください。

<http://kendo.teikyouniv.jp/>

帝京大学 剣道部

■ From EDITOR

帝京大学剣道部は、他クラブの応援も熱心だ。駅伝競走部や硬式野球部の大会に取材に行った際も、スタンドで大きな声で応援しているのを見かけた。駅伝競走部の大会で言えば、土曜日の練習後、全員が八王子キャンパスから国立競技場に移動してのことだ。1クラブとしてだけでなく、学校全体を盛り上げていこうという気合を感じた。(S)